

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 5年 11月 27日

事業所名 ハッピーテラス河内花園教室

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6	0	0		
	2 職員の配置数は適切である	6	0	0	児童の状態に合わせて必要な配置数より多く配置しています。	
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	2	3	1		入口は構造上難しいですが、教室内は全てバリアフリー化しております。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	4	2	0	日々の申し送りで改善案を話し試行を継続しております。	
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5	1	0	毎年のご意見を参考にさせて頂き、継続して反映させて頂いております。	
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6	0	0	ハッピーテラスのホームページにて公表しております。	
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	3	0	3	半年もしくは年1回の本部定期研修がありますが、第三者評価は受審しておりません。	定期研修にて本部から来た講師の評価を受け、継続的な学びの機会を得ております。今後第三者機関による評価が必須となった場合には本部に確認の上、検討して参ります。
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6	0	0	オンラインでの研修等も活用して外部の情報も仕入れ、共有しております。	
適切な 支援の 提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	6	0	0	保護者様との面談内容を共有し、どのような目標がふさわしいか相談しております。	
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5	1	0		本部のシステムにアセスメントツールがあり、プログラムを貰っているため、周知を徹底していきます。
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	5	1	0	毎週のテーマに合わせて相談やデモンストレーションを全員参加しております。	
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6	0	0	毎回内容が同じにならないよう工夫を重ねております。	
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	6	0	0	平日はカリキュラムを、休暇中はリフレッシュを中心に内容を組み立てております。	
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	6	0	0	保護者様と相談の上、平日の早い時間を使いトレーニングを実施している方もいます。	
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	4	2	0		少なくともありますが打合わせ時間を持っていない日もあるので、5~10分は設定出来るよう努めて参ります。
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5	1	0	その日に行なう事が難しい日には翌朝に時間をとって行なう事があります。	
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	4	2	0		
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	6	0	0	計画書作成の職員と共に、支援についての相談を随時行なっております。	
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	5	1	0		厚生労働省のガイドラインをいつでも閲覧出来る場所に設置する且つ再度確認する事を目的に事業所内で勉強会の機会を作っております。	

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6	0	0	主に自発管が行きますが、必要に応じてスタッフも同行します。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	6	0	0		
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	1	4	1		現在、該当がありません。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	1	4	1		現在、該当がありませんが、新一年生を受け入れる場合には、適切な情報共有をして参ります。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	4	1	1	相談員への申し送り等を行なっております。	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	5	1	0	研修の参加により情報を得ております。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	2	2	2		現在、外部との交流機会は検討中ですが、外出イベントも再開し、一般の利用もある場所へ出向いております。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	3	2	1		ご案内があれば積極的に参加致します。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6	0	0	送迎時や日々の会話の中からも共通理解に向けて話をさせて頂いております。	
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	3	2	1		面談の際ご家庭に関する話題も聞かせて頂きスタッフ視点の意見をお伝えさせて頂く事もある他、各スタッフで電話やお迎え対応時に情報共有をする機会を頂いております。また勉強会で知識面の補強を行ない認識を一致して参ります。	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6	0	0	見学・契約の際など必要に応じてご説明させて頂いております。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6	0	0		
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	2	1	3		コロナウイルスの感染拡大から控えておりますが、世間の動向に合わせて実施を検討して参ります。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	6	0	0		
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	4	1	1	活動概要は、日々の提供記録に記載してお渡ししており、行事のお知らせに関しては毎月お便りとして送付しております。	
	35	個人情報に十分注意している	6	0	0	イベント等の写真等許可を頂いた上でお届けさせて頂いております。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6	0	0	連絡帳の記入や電話で必要な情報伝達をしております。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	1	2	3		コロナウイルスの感染拡大から控えております。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	5	1	0		避難訓練等の緊急時のマニュアルは職員間で周知出来ているが、防犯に関しては話し合いを行っていない為、今後知識を増やし周知して参ります。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6	0	0	定期的に避難訓練をトレーニングの内容として行なっております。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6	0	0	1年に1回は勉強会を実施しております。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	6	0	0	契約時に必ずご説明させて頂いております。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	4	1	1		イベント等で飲食を伴う場合には必ず保護者様から食べ物に関する注意事項は聞いておりますので、医師の指示も合わせて確認に努めて参ります。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6	0	0		小さな出来事も情報共有と共に、事例として文章に残す事で危機管理意識の向上に努めて参ります。